

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月11日更新

事務事業名	アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業					<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政 策	3	教育の健康			所属部	教育委員会	課長名	牧野 淳一
	施 策	10	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	中田 玖美
	施策の柱	37	学習の啓発と参加機会の提供			所属班	生涯学習班	(内線)	1505
予算科目	会計 一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 11544	根拠 法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との年度協定の締結 市に賑わいをもたらすことや市外へPRを行うことを目的に、アニメ・マンガ・映像等を活用したイベントの実施。 市に縁のある漫画家やアニメクリエイター、更にはアニメ・マンガを活かしたまちづくりを行っている団体の協力を得て、市の資源を活かした地域CM制作やマンガ単行本等を作成し、市内・市外にPRを行う。 コンテンツ産業の誘致に向けた関係団体との協議。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 市に賑わいをもたらす施策として、本市に縁がある漫画家、映像プロデューサーと熊本県内で活躍されているNPO団体、更には専門性がある大学教授を招きシンポジウムを開催する。 指定管理者のモニタリング
【主な予算費目】	<ul style="list-style-type: none"> 報酬 (地域おこし協力隊) ・職員手当等 (地域おこし協力隊) ・旅費 (地域おこし協力隊) ・負担金補助及び交付金 (地域おこし協力隊)
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> アニメ・マンガ等を活用した事業は、求めた声がある。 この事業は、他の自治体ではあまり取り組まれておらず、将来の市の発展に効果があると思われる。 コンテンツ企業から合志市で事業を営みたいと要望があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動) (DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・地域おこし協力隊を任用し補助金を交付した。	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者 (こうし未来研究所) との年度協定の締結。 地域おこし協力隊を任用 (継続) し補助金を交付。 指定管理者のモニタリング。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由
ア! 合志マンガミュージアム自主事業数	会計年度任用職員の昇給による報酬・期末手当の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	ア! 合志市民 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
賑わいのあるまちづくりに取り組む	ア! 合志マンガミュージアム入場者数 人
	イ! 合志マンガミュージアム入場料売上 円
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠	
アニメやマンガを活かした事業に関心があるかを指標とした。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費 の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回	20	32	40	38	40	40	40	40	
② 対象指標	ア 人	63,189	63,841	64,614	64,453	65,500	66,391	67,270	68,688	
③ 成果指標	ア 人	7,085	7,924	10,000	13,266	10,000	10,000	10,000	10,000	
	イ 円	763,600	785,200	1,000,000	1,707,700	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	3,985	3,738	4,084	4,068	4,268	4,268	4,268
		(A) 事業費計	千円	3,985	3,738	4,084	4,068	4,268	4,268	4,268
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	5	5	1	4	1	1	1
(B) 人件費計	正規職員従事人数	人	5	5	1	4	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	665	360	200	350	200	200	200	
	(B) 人件費計	千円	2,622	1,407	796	1,332	796	796	796	
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,607	5,145	4,880	5,400	5,064	5,064	5,064		

事務事業名	アニメ・マンガを活かしたまちづくり事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 アニメ関係機関、県内のアニメ・マンガでまちづくりを目指しているNPO団体等との調整は図られた。しかし、この事業の目標を明確化する必要がある。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 アニメ・マンガを活用した取組みについて、市民参画の事業を実施し市民の理解も得られてきた。今後はコンテンツ企業と連携し更なる発展に努めたい。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 アニメ・マンガを活かした取組みを行っている自治体・大学等が近年増えてきている。今後はこのような自治体等と連携して進めることで成果の向上余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業のためクリエイター創業者育成事業と統合余地あり。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 施設の機能を発揮させるための最小限の予算で執行しているため削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合志マンガミュージアムのキューブゾーン（展示室）において入場料を徴しているため、公平性は保たれる。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 アニメ・マンガ文化による賑わいのあるまちづくりに市が取り組むことには異論もあるが、故郷出身の漫画家等を活かすことは市の役割である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

アニメ・マンガを活かしたまちづくりで、故郷出身の漫画家を活用することで賑わいがもたらされることが期待できるが、出版社等の著作権関係で協力を得ることが非常に難しい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						